



池田市【大阪府】 歴史文化基本構想

- 策定年月：平成29年1月 ■ 人口：103,501人 ■ 面積：22km²
- 担当課：池田市教育委員会 教育部 生涯学習推進課（平成30年3月現在）



池田市は、古代の機織技術伝来の伝承や地域における祭礼などの伝統を継承しながら、植木産業や酒造り、インスタントラーメンの発明や電鉄会社による日本初の郊外住宅地の開発など、「事始めのまち」としての歴史文化を継承してきた。これらの歴史文化遺産を総合的に保存活用し、魅力を高め、「訪れたい・住みたい・住み続けたい」地域づくりを目指す。

5 歴史文化を表す
つのキーワード

コミュニティ、ものづくり、
住宅・教育都市、交流、森と水

課題

- ・ 価値や魅力に対する認識不足
- ・ 情報発信力の不足
- ・ 地域の活性化という視点の欠如
- ・ 管理や継承の担い手不足

保存活用方針

- ・ 継続的な調査の実施
- ・ 観光施策の充実
- ・ 歴史を活かしたまちづくりの推進
- ・ 守り、引き継ぐ体制の構築

保存活用のための取り組み

歴史文化の価値の発信

- ・ 市史編纂事業
- ・ 市立歴史民俗資料館における資料収集・展示
- ・ 企業の資料館や博物館における資料収集・展示
- ・ 広報誌やホームページでの情報提供 など



歴史文化の保存・継承の担い手の育成や意識啓発

- ・ 副教材の作成および小中学校での配布
- ・ 市内文化財公開イベントの開催
- ・ 歴史文学講座や歴史入門講座の開催
- ・ 市民の取り組みへの支援 など



歴史文化の保存

- ・ 調査研究の推進
- ・ 植木や池田酒などの伝統産業技術の継承
- ・ 歴史文化遺産の保全・整備・継承
- ・ 梅林などの衰微・亡失したものの復活 など

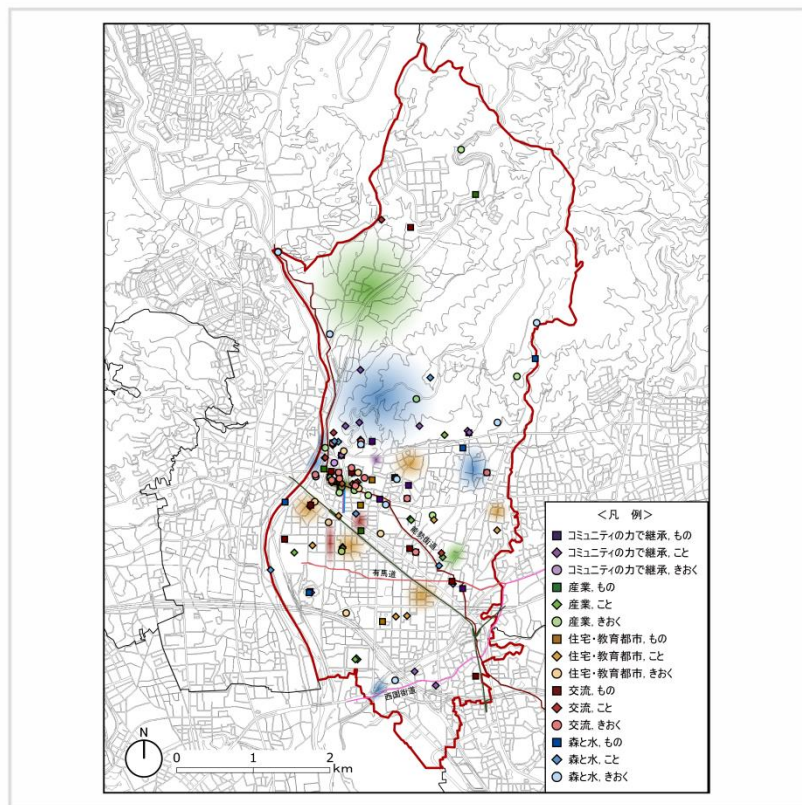


歴史文化の活用

- ・ 映画やドラマの撮影場所としての提供
- ・ 市内ガイドツアーの実施
- ・ 地域や学校での見学や授業の実施
- ・ 地域の歴史に関する冊子の発行 など



関連文化財群



市内に多数ある関連文化財群のうち、とくに戦略的に地域づくりに展開するものがたりを「池田市における歴史文化ものがたり」と位置付け、「まち・産業・人が織り成すく事始めのまち」の歴史文化」という池田市の歴史文化の特徴から、5つのストーリーを設定した。
 なお、左図の点は、各歴史文化遺産の場所を示している。

ストーリー

- ① コミュニティの力で継承する歴史文化
- ② ものづくりの機運に育まれた歴史文化
- ③ 住宅・教育都市としての歴史文化
- ④ 交流が培った歴史文化
- ⑤ 森と水に育まれた歴史文化

策定後の成果（見込まれる効果）

① 観光振興

本市の豊かな歴史文化を、観光振興にさらに活用してゆくことが見込まれる。具体的には、歴史文化遺産を巡る観光ルートの設定、市民ボランティアガイド向けの講座やワークショップの開催、国内のみならず海外からの観光客を呼び込むための情報発信の強化などが考えられる。



② 市民主体の保存

歴史文化に関する市民の意識の啓発を通じて、歴史文化遺産の新たな発掘・価値付けが期待される。加えて、継続的な学術調査の実施、指定・未指定を含めた歴史文化遺産のデータベース化の推進、周辺環境との一体的な保全・活用などによって、より効果的な保存の措置へとつなげてゆく。



③ 次世代への継承

学校教育や社会教育と連携し、本市の豊かな歴史文化を市民に伝え、次世代に継承し、「シビックプライド」の醸成をはかる。また、池田みかん、池田酒、植木などの伝統産業や、がんがら火に代表される祭礼などの伝統文化の担い手の育成をはかる。

